2020年度(令和2年度）福山市立神辺小学校　外国語科　学習到達目標

学習指導要領　外国語の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて，日本語と外国語との違いに気付き，これらの知識を理解するとともに，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

小学校外国語科で目指す児童の姿

○ コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の考えや気持ちを表現したり，伝え合ったりすることができる。

○ 英語を通じて他者とコミュニケーションを図り，相互の理解を深めることができる。

領域別目標

聞くこと	読むこと	話すこと［やり取り］	話すこと［発表］	書くこと
ア　ゆっくりはっきりと話されれば，自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができる。 ウ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，短い話の概要を捉えることができる。	ア　活字体で書かれた文字を識別し，その読み方を発音することができる。 イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。	ア　基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができる。 イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。 ウ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができる。	ア　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 イ　自分のことについて，伝えようとする内容を整理した上で，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	ア　大文字，小文字を活字体で書くことができる。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

5年生

ア　ゆっくりはっきりと話されれば，自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	**ア　活字体で書かれた文字を識別し，その読み方を発音することができる。**	**ア　基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができる。**	**ア　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。**	**ア　大文字，小文字を活字体で書くことができる。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。**
《Unit 1》 ・ゆっくりはっきりと話されるのを聞いて，名前の綴りや好きなものについて聞き取ることができる。	《Alphabet Time 1, 2, 3》 ・アルファベットの大文字・小文字を識別し，その読み方を発音することができる。	《Unit 7》 ・基本的な表現を用いて，料理の注文や値段について尋ねたり答えたりすることができる。	《Unit 3》 ・曜日や教科など時間割について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	《Alphabet Time 1, 2, 3》 ・アルファベットの大文字・小文字を活字体で書くことができる。 《Unit 5》 ・音声で十分に慣れ親しんだ上で，語順を意識しながら，自分や第三者のできること等を表す簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
イ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができる。	**イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。**	**イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。**	**イ　自分のことについて，伝えようとする内容を整理した上で，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。**	**イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。**
《Unit 8》 ・ゆっくりはっきりと話されるのを聞いて，もののある位置や目的地への道順を聞き取ることができる。	《Unit 5》 ・音声で十分に慣れ親しんだ上で，できることについての音声を聞いて，文字を指で追うことができる。 《Unit 9》 ・音声で十分に慣れ親しんだ上で，あこがれの人について書かれた紹介文を読み，大体の意味を捉えることができる。	《Unit 2》 ・誕生日や誕生日に欲しいものについて，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	《Unit 4》 ・自分の放課後や休日の過ごし方について，伝えようとする内容を整理した上で，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	《Unit 9》 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分が選択した憧れの人物の紹介を，例を参考に書くことができる。
ウ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，短い話の概要を捉えることができる。		**ウ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができる。**	**ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。**	
			《Unit 6》 ・行きたい国やお勧めの国の魅力について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単か語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	

6年生

ア　ゆっくりはっきりと話されれば，自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	**ア　活字体で書かれた文字を識別し，その読み方を発音することができる。**	**ア　基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができる。**	**ア　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。**	**ア　大文字，小文字を活字体で書くことができる。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。**
《Unit 1》 ・ゆっくりはっきりと話されれば，友達の自己紹介を聞いて，出身地や得意なことなどについての簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。		《Unit 1》 ・基本的な表現を用いて，自分のことについて伝えたり，相手のことについて尋ねたりして互いについての理解を深めることができる。	《Unit 2》 ・外国からの観光客を想定し，日本の行事などについて，簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介することができる。	
イ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができる。	**イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。**	**イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。**	**イ　自分のことについて，伝えようとする内容を整理した上で，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。**	**イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。**
《Unit 5》 ・ゆっくりはっきりと話されれば，ある人物の職業や性格などについて，具体的な情報を聞き取ることができる。	《Unit 4》 ・音声で十分に慣れ親しんだ上で，夏休みの思い出について書かれた文を読み，大体の意味が分かる。 《Unit 7》 ・音声で十分に慣れ親しんだ上で，小学校生活の思い出について書かれた文を読み，大体の意味が分かる。	《Unit 3》 ・見たいスポーツについて，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	《Unit 6》 ・自分達の町の魅力について，伝えようとする内容を整理した上で，簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介することができる。	《Unit 4》 ・夏休みの思い出について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。 《Unit 7》 ・小学校生活で思い出に残っていることについて，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
ウ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，短い話の概要を捉えることができる。		**ウ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができる。**	**ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。**	
《Unit 8》 ・ゆっくりはっきりと話されれば，友達のなりたい職業とその理由について，概要を捉えることができる。		《Unit 1》 ・基本的な表現を用いて，自分のことについて伝えたり，相手のことについて尋ねたりして互いの理解を深めることができる。 《Unit 8》 ・自分や相手の将来の夢とその理由について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができる。	《Unit 9》 ・中学校でやってみたいことやその理由などについて，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	